

支えてくれた仲間・コーチ・両親へ…



平成24年度栃木県サッカー協会の表彰式において、「太郎賞」を受賞した、明治中学校の関根浩平さんにお話を伺いました。

関根さんの受賞したこの賞は、その年度に優秀な成績を残し、将来、全国的に活躍が期待される選手に授与されるもので、県内外での活躍が認められ今回の受賞になりました。

サッカーとの出会いは、幼稚園のころ、仲のいい友達が始めたから…というごく普通な理由から。小学校2年生のときに上三川FCに入団し、「そこで、基礎的なことを教わりました。」というように、今の関根さんがあるのは、その当時のコーチのおかげでもあるようです。

その後、栃木県や関東地区のトップレベルの選手が集まって行う合同練習会に参加し、周りの選手のレベルの高さが刺激

となったらしく「練習から良いプレーを意識することと、向上心をもつようになりました。」と言っように、常に上を目指して練習することの重要性を教えてくださいました。

また、受賞の決定の報告があったときは「嬉しかったけど、驚きもあった。自分でいいのかな…という

気持ちも。」と、当手を振り返ってくださいました。

関根さんにとってサッカーとは、「自分にとって、かけがえないものであり、大切なもの。サッカーを通して知り合った、仲間やコーチ、支えてくれた両親には感謝しています。」とのことでした。

また、「将来は、海外、できればイタリアでプレーしてみたい。日の丸をつけて日本代表にもなりたい。」と

「恥ずかしそうに、笑顔で話してくれました。」

今月の輝ける星



「恥ずかしそうに、笑顔で話してくれました。」

上三川町の学校紹介 ~本郷北小学校(児童数:401名)~

昭和57年4月の開校以来これまで、福祉教育、ボランティア活動、人権教育、外国語活動、新教科「みらい創造科」の開発など、様々な研究に取り組んでいます。現在は、保護者や地域の方々から大きな支援をいただきながら、それらの成果を生かした教育活動を展開しています。

▼縦割り班活動で人間関係づくり

給食、福祉カルタ取り大会、共遊の時間など、学校生活の様々な場面で縦割り班活動を取り入れています。これらは、思いやりの心を育むとともに、好ましい人間関係づくりのための重要な教育活動となっています。

本校の創立を記念して行われる「手つなぎ遠足」は、6年生が1年生の手をつないで公園に出かけ、縦割り班で共遊する心温まる遠足です。



▼楽しい外国語活動

ALT教員の指導やボランティアの方々の協力を得ることで、1年生から6年生までが外国語活動に取り組んでいます。イングリッシュ・フェスティバル、寿司バーに行こう、修学旅行での英会話など内容は様々で、発達の段階に応じた楽しい外国語活動を展開しています。

5年生は、4年生を招待してハロウィン・パーティーを行っています。

